

**神戸学院大学**

阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂と、被災体験の継承のために、神戸学院大学では毎年、震災のあった1月17日、震源に近い有瀬キャンパスの大時計前に献花台を設け、学校法人神戸学院の西本誠實理事長、中村恵学長らが慰霊の花を手向け、祈りを捧げる。亡くなった1人の教員や中国からの2人の留学生、学生の家族、同窓生など大学ゆかりの人々をはじめ、多くの犠牲者の冥福を祈る「慰霊のこぼれ」も献花台の横に掲示される。

鎮魂のための献花と祈り

阪神・淡路大震災犠牲者

**広島工業大学**

広島工業大学の冬の風物詩「三宅駅伝」は、毎年12月に実施される。体育会本部が企画運営する駅伝は、五日市キャンパスのある三宅地区を舞台に、1チーム6人のランナーが21kmのコースでタスキをつなぐ。体育会に所属するクラブ、ゼミ、教職員など毎年20チーム以上が参加するイベント。キャンパスの外周を走るコースは標高差が89mとアップダウンが非常に激しく、地元の方々からの声援も受けながら激走する。

冬の伝統行事  
三宅駅伝を開催

**中部学院大学**

中部学院大学看護学科3年生の第9回戴灯式が昨年5月8日に行われた。戴灯式はこれから始まる本格的な臨地実習を前に、学生一人一人がサインゲル像よりキャンドルの灯を戴き、看護の先人であるサインゲルの志を引き継ぐセレモニー。第1期生から毎年チャペルで行われている伝統行事。今年は保護者、日頃から看護学生を支えてくださる来賓をお迎えして厳粛な雰囲気の中、行われた。

「戴灯式」を経て  
臨地実習へ

**朝日大学**

朝日大学では、毎年7月頃に、地域と密着した開かれた大学づくりの一環として、「朝日大学スポーツフェスティバル」を開催している。今年度は、550人以上が参加。イベントアースには、体育会コーナー、FC岐阜(J3)、ヒマラヤ(スポーツ用品販売企業)によるスポーツレクリエーションに加え、学生防犯ボランティア「めぐる」による、ちびっこコーナーもあり、子どもから高齢者まで様々な世代が交流した。今後も、このスポーツフェスティバルを通じ、様々な世代との交流が深められる場を提供していく。

世代をこえて  
スポーツフェスティバル

**崇城大学**

崇城大学(熊本市西区)では伝統行事の一つとして、遠歩会(えんぽかい)が毎年開催されている。今年度は53回目の開催となり、夜の23時頃から朝まで約30kmの道のりを仲間と歩く。夜通し歩くことで、心身の鍛錬やチャレンジ精神を養う。また、交通量の少ない夜間は事故のリスクが低く、学生同士が会話をしながらより安全に歩くことも狙いだ。新型コロナウイルス感染症拡大等が原因で中止となった時期もあったが、伝統ある行事が続いていくよう努めていきたい。

学生と教職員が  
30キロ歩く「遠歩会」

**東京女子体育大学**

東京女子体育大学では、長野県戸隠高原にて、キャンプや登山の基礎的な知識・技術を習得する「キャンプ実習」を行っている。2024年は8月5日(月)～9日(金)の4泊5日で実施。山間部における集団行動の注意点や、野外での寝床・食事の準備方法などが習得でき、指導者として山間部へ児童・生徒を引率する際の指導方法なども学ぶ。学生たちは笑顔で実習に取り組み、協力し合いながら活動に参加した。

夏季野外実習

**九州栄養福祉大学**

九州栄養福祉大学では、開設当初の洋裁女子学校の流れから開学以来88年間「針供養」を全学的に行っている。現在は、針を使用する学科はないが、自分たちが日々使っている道具やモノに感謝する行事として毎年12月初旬に学内成人式とあわせて実施している。針供養とは、1年間自分たちのために使われて折れたり、曲がったりした針を神様の前で感謝の念を捧げ、供養するという日本の伝統行事でもある。

モノへの感謝忘れずに  
針供養

キャンパス 万華鏡

**伝統行事**

各大学では伝統的行事が脈々と受け継がれ、行事があることで学生生活を豊かにし、コミュニティの一体感を高めるなど重要な役割を果たしている。日本私立大学協会加盟大学に呼びかけ集まった大学の文化や伝統を次世代に繋ぐ伝統行事を紹介する。

**北海道医療大学**

北海道医療大学では、SCP(Student Campus President: 学生キャンパス副学長)制度を導入している。SCPに任命される学生は、学部より1人。より良い大学にするためのアイデアを掲げた学生が立候補し、選挙により決まる。2024年11月21日には第16期SCP報告会及び第17期SCP任命式が行われた。第16期SCPよりイベントの実施などの報告後、第17期SCPの任命式が行われ、三国久美学長よりSCP任命状と専用プレザーが手渡され、激励の言葉がおくられた。

独自の学生キャンパス  
副学長任命式

**東京純心大学**

東京純心大学の江角記念講堂に設置しているパイプオルガン(カナダのカサパン・フレール社製)は、2030本のパイプすべて長さや太さがすべて違い、鳥のさえずりのような高い音から、地響きのような重低音まで、色彩豊かな音を響かせる。同大学において、日々の授業、入学式、卒業式、創立記念行事、ミサ、聖母(大学祭)、クリスマスコンサート、地域住民に向けた公開講座などで美しくも力強い調べを届け行事では欠かせない。

荘厳な  
パイプオルガンとともに

**近畿大学**

近畿大学では、すべての新入生が気持ちを新たに充実した大学生活の第一歩を踏み出せるよう、入学式の枠にとらわれない趣向を凝らした「ド派手」な入学式を行っている。オープニングを飾るウエルカムパフォーマンスユニット「KINDAI WELCOMES」は、性別を問わず、在学生の中からボーカリストやパフォーマーをオーディション形式で選抜。厳しい練習を乗り越え、入学式当日限りのステージとして、新入生の前で圧巻のパフォーマンスを披露する。

新入生を  
盛大に祝う

**武蔵野音楽大学**

武蔵野音楽大学は大学創立当初より年に4回、都内の著名なホールにて管弦楽団、ウィンドアンサンブル(吹奏楽)の定期演奏会を開催している他、両楽団とも毎年7月と9月に全国各地にて演奏旅行を実施している。さらに国際交流の一環として、1977年ドイツ・ボン市での公演を成功させて以来、海外演奏旅行も継続しており、これまでヨーロッパやアメリカ、アジアにおいて約100公演を行い、いずれの公演も好評を博している。

国内外での演奏会を継続する伝統

**仙台大学**

仙台大学で第12回「東北子ども博」が昨年10月12日に開催され、約6300人の親子連れが参加した。このイベントは、東日本大震災後の2011年に東北の子どもたちを元気づけるために始まった。学生ボランティア約400人と教職員がサポートし、子どもたちはアメリカンフットボール、サッカー、ゴルフ、スポーツチャンバラなど、多彩なスポーツを楽しんだ。さらに、おもちゃやパン作り体験、消防車やパトカーの試乗、昆虫とのふれあいなどのコーナーもあり、会場は大いに盛り上がった。特別に同窓会ブースも設置され、北海道・標津町から提供された鮭やホタテを使用したジビエ料理が提供され、来場者は北海道の味覚を楽しんだ。

子どもたちが多彩な  
スポーツに挑戦

**工学院大学**

今年で50回目を迎えた「歩け歩け大会」。その名のとおり八王子キャンパスから新宿キャンパスまでの約43kmを夜通しで歩く伝統行事で、春に開催されるプレ八王子祭に合わせて開催される。指定されたルートには12のチェックポイントがあり、参加者が楽しめるコンテンツが用意されている。一緒に歩いた仲間と苦楽を共にし、達成感を味わうことで友情が深まるこの大会は、参加した学生にとって特別な体験となっている。

深夜の「歩け歩け大会」

**関西外国語大学**

毎年10月31日に関西外国語大学ではハロウィンの仮装コンテストが行われる。外大生はもちろんのこと留学生が多数参加。日本国内では、ハロウィンをめぐるイベントがあまりなかったことから、米国の留学生を中心に仮装を楽しんできた。2024年のコンテストには30組が出場し、地域の一般の方も参加した。ちなみに1位は「バーニーガール」2位は「赤ずきん」3位は「呂布カルバ」で「ドラッグクイーン」が審査員賞に輝いた。

毎年恒例のハロウィンイベント